

R5予測課題も3案で80%以上の的中させる

(1) 研究会の予測課題は3案に絞っている



(2) 3案予測課題が80%以上の的中を目指す



(3) 過去7年間では毎年80%以上の的中した

建築資格研究会 : www.kenchiku-shikaku.net

研究会は、試験までの短い期間内に効率よく学習できるように予測課題を3案に絞っています。

その3案の予測課題が、本試験に対して80%以上の的中することを最大の目標にしています。

研究会の予測課題は、過去7年連続で本試験内容に対して80%以上の的中させています。

昨日は、「計画の要点等」について解説しましたが、本日は、令和4年の図面の課題内容について詳細に紹介します。

令和4年は、予測課題3案に本試験内容のほぼ全てが網羅されてます、令和5年も3案で80%以上の的中させます。

80%以上の的中したR4予測課題（1）

R4予測課題は指定階数・床面積が的中できなかったが、標準解答例も含むと3課題にすべてが含まれる

表1 課題(図面)の比較検証

各社	課題名	建設用地			階数	指定床面積	は的中できなかった					
		規模	横	縦			は類似内容					
		(㎡)	(m)	(m)	階	以上～以下 (㎡)～(㎡)	東	西	南	北		
本試験	R4課題 2022.10.9	1,536	48	32	①6階 ②7階	①5941㎡ ②5712㎡		隣地	隣地	道路	道路	
研究会	予測課題1 2022.8.22	1,750	50	35	3階	2,000	～	2,400	隣地	隣地	道路	公園
	予測課題2 2022.9.5	1,700	34	50	5階	3,400	～	3,800	道路	道路	隣地	隣地
	予測課題3 2022.9.19	1,700	50	34	7階 B1	5,000	～	5,500	道路	道路	隣地	道路

令和4年の事務所ビルの本試験課題は、階数と床面積で指定がなかったことが、最も驚きの内容であった。

表1は、本試験課題と研究会の予測3課題との的中したかの比較表です。階数と床面積は、標準解答例まで含めて比較すると、7階と床面積5500㎡があり、ほぼ類似しているので作図できたと推定します。

また、それ以外の建設用地、東西南北の条件は、研究会の予測課題3案にて網羅されています。

80%以上の的中したR4予測課題（2）

**R4予測課題は清掃控室以外が的中
要求室・庭園・駐車場等は3課題にあり**

表2 課題(図面)の比較検証

は類似内容

は的中できなかった

各社	課題名	要求室											屋上	屋外	駐車場			駐輪場	
		事務所部門					レスト ラン	共用部門					設 備 指定条件	庭園 (㎡)	広場 (㎡)	車いす (台)	利用者 (台)	サービス (台)	
		貸事務 室	シェア オフィス	会議	ラウンジ 休憩	コミュ ニティ		エント ランス	管理室	ゴミ	清掃 控室	防災 備蓄							
本試験	R4課題 2022.10.9	7階は 600㎡	500㎡	貸事務 室内有	シェア 室内有	150㎡	200㎡	適宜	10㎡	適宜	適宜	適宜	受水槽 消火ポ	100㎡	50㎡	1	1	1	10
研究会	予測課題1 2022.8.22	40人		40㎡	適宜 リフレ	200㎡ 文化	40人	適宜 改修	適宜	適宜	-	-	ポンプ 室	40㎡	100㎡ 8m門	2	2	0	20
	予測課題2 2022.9.5	400㎡	コワーク 200㎡	適宜	-	120㎡ 学習	-	適宜	守衛 適宜	適宜	-	40㎡ 備品	受水槽 消火ポ	-	-	1	-	1	10 (内)
	予測課題3 2022.9.19	600㎡	-		適宜	子育て 学習	-	適宜	適宜	適宜	-	-	受水槽 消火ポ	300㎡	-	1	30	1	10

表2は、要求室等での本試験課題と研究会の予測3課題との的中したかの比較表です。

要求室については、清掃控室は予測できなかったが、それ以外の貸事務室、シェアオフィス、レストラン、共用部、設備について、予測3課題の中で、ほぼ網羅されています。

屋上庭園、屋外広場、駐車場、駐輪場は、台数まで含め予測課題が的中しました。

目的は合格すること

R5合格するため予測課題を見てください

表1 製図試験の合格率

年度	受験者数	合格		不合格	
		ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ
平成21年	12,545人	41.2%(5,164人)	25.8%	23.0%	10.0%
平成22年	10,705人	41.8%(4,476人)	27.8%	20.0%	6.9%
平成23年	11,202人	41.8%(4,683人)	27.8%	20.0%	6.9%
平成24年	10,200人	41.8%(4,264人)	27.8%	20.0%	6.9%
平成25年	9,830人	41.8%(4,109人)	27.8%	20.0%	6.9%
平成26年	9,460人	41.8%(3,954人)	27.8%	20.0%	6.3%
平成27年	9,308人	40.5%(3,774人)	25.2%	23.3%	11.0%
平成28年	8,653人	42.4%(3,673人)	27.1%	20.7%	9.7%
平成29年	8,931人	37.7%(3,365人)	21.2%	29.9%	11.2%
平成30年	9,251人	41.4%(3,827人)	16.3%	16.5%	25.9%
令和元年	10,151人	35.2%(3,571人)	4.3%	30.8%	29.7%
令和2年	11,031人	34.4%(3,796人)	5.6%	24.3%	35.7%
令和3年	10,499人	35.9%(3,765人)	6.3%	26.9%	30.9%
令和4年	10,509人	33.0%(3,473人)	6.1%	32.4%	28.5%

合格するため80%以上の中の研究会3予測課題を学習

ランクⅠ：知識及び技能を有するもの(合格)

ランクⅡ：知識及び技能が不足しているもの(不合格)

ランクⅢ：知識及び技能が著しく不足しているもの(不合格)

ランクⅣ：設計条件・要求図面等に対する重大な不合格に該当するもの(不合格)

製図試験の目的は、たった一つ、合格することです。

S社・N社の毎週様々な予測課題を作図する手法も否定はしません、作図力もアップしますし、集中学習力もつきます。しかし、毎年15種類程度になる、あまりに多い予測課題は、結局何が出るのと疑問にもなりません。

この大手2社の合格者の占有率は、毎年ほぼ9割ですので、資格学校の中で約35%以内に入らないと合格できません。

資格学校へ通学しつつ、ぜひ研究会の3つの予測課題も学習してください、毎年この3課題で80%以上が的中しています。

資格学校の約15種類ある予測課題を、研究会は3課題にまとめていると考えて頂ければわかりやすいです。

資格学校の隣の方に勝つために、合格するために、研究会の予測課題も活用して頂ければ幸いです。

以上で、令和5年、合格するぞ「80%以上の中する研究会の予測課題」の解説を終了します。